

教科	科 目	単位数	学年・クラス
理科	生物	2	3年2組(理)

1 使用教材

使用教科書	生物
出版社	数研出版
副教材等	2024 セミナー生物基礎+生物
出版社	第一学習者

2 学習の目標

- 1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行う。
- 2 生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。
- 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	A	C	理解ができているか
小テスト	B	B	B	既習事項を身に付けることができているか
課題	B	B	A	提出状況、理解できているか
授業	A	A	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第4編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容 第2節 ニューロンとその興奮 第3節 情報の統合 第4節 刺激への反応 第5節 動物の行動 第6章 植物の環境応答 第1節 植物ホルモン 第2節 発芽の調節	受容器で受け取られた刺激が、神経系を介して、効果器へと至る経路を理解する。 植物の環境応答や成長・分化の調節について理解する。
2 学期	第3節 成長の調節 第4節 器官の分化 第5節 環境応答 第6節 配偶子形成 第5編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 第1節 個体群 第2節 個体群内の関係 第3節 種間関係	個体群内や個体群間の関係について理解する。
3 学期	第4節 生態系の物質循環 第5節 生態系と人間生活	生態系の構造を学習し、生態系保全の大切さを理解する。